



大分 水の音

vol. 29 2018年8月 発行

発行元：株式会社エステーエスプロジェクト大分支局
〒870-0952 大分県大分市下郡北3丁目26-36
TEL 097-574-5371 FAX 097-574-5372

2018/6/17

大分セミナー特集号！

梅雨の中休みの日曜日、約150名の参加者を迎え、大分セミナーが開催されました。会場は、熱気に包まれ大いに盛り上がりました。

◆世界の水と空気

世界では、今この瞬間にも水が飲めず、何万人もの子供たちが亡くなっている。様々な団体が、井戸を採掘するボランティアなどを行っているが、基礎知識不足のため、かえって被害が出てしまっている。水道事情が日本と同じようなレベルの国は、国連加盟国200の内、世界に9ヶ国しかない。しかし、日本の水道水にも、次亜塩素素、ポリ塩化アルミ、苛性ソーダの劇物が入っているなど、日本の水道法も課題はある。食品をみても、流通のため、多くは200ppmの次亜塩素素で食品を管理している。日本の水の技術は世界トップクラスだが、まだまだ改

◆物理学と宇宙は算術！

善点は多くある。口や鼻から、食べ物、飲みもの、空気が介して体に入ったものが病を生み出す。これらを左右するのは環境。私たち生物は、環境に左右される水耕栽培の生き物といえる。そして、水に溶けないものは、栄養にならない。空気が肺の中へモグロビンと結合しなければエネルギーとして使えない。きれいな水と空気、免疫に溢れた食べ物を食べるのが大事。それを400億の引き出し（機能）を持つ腸内細菌がコントロールする。水に溶けないものは、栄養として吸収できないということ。世界的に水について考える

ことは必須。先にも述べたように、水の管理はどの国も不十分といえる。今や、政治や経済の不安と共に、水や空気などの環境が原因で、国や文明が危機に陥ってしまうのでは、と私は懸念している。

◆人体も引き算の科学

鉄には、150の酵素、亜鉛には250の酵素と結合できる性質がある。つまり、鉄と亜鉛それぞれに、150と250の顔（機能）がある。なおかつ、鉄には鉄酵素があり、これらの金属を液体化する酵母菌が存在する。つまり、全ての金属を溶解できる。これまで、アモルフラスという溶解の

◆偶然を必然に

物の成り立ちを科学的に理解していくと、環境破壊が進んだ原因は、人類が産業革命以来、環境を無視して、歩んできたため。産業革命から始まった資本主義だが、そこからペーパーカンパニーの歴史が始まり、投機マネーが支配する現在に繋がっている。

◆還元色は、無色透明

花は50年前から遺伝子組み換えを行っている。その香りと色は、今や人の手で作られたもの。花卉は水耕栽培。水とハウスの環境を整え、そこに働く人が生命の理論をしっかりと理解して管理すると、全く違った花々が出てくる。色が鮮明になり、長持ちする花となる。



92番目の元素ウ



ランを燃やしてできた、94番目のプルトニウムは、ベータ崩壊して放射線を出す。STSのエマルジョン技術を使うと、使用済み核燃料も見直すことができ

物理学は数学ではなく算術。ここに思考の概念を合わせる。宇宙は素晴らし

るといふ相互バランスが存在する。平和な社会をつくるために今やるべきことは、確かな科学とテクノロジーを持つて、偶然が必然になるよう、そして、必然がずっと続く生き方を確立すること。



は、足せば足すほど無色透明になる。ある方との会談で、世界の宗教界の現状は、集まれば集まるほど争いが増している」と述べた。それは、色の三原色で例えると、酸化でどろんどん黒色になっていくようなイメージ。しかし、本当に彼がやりたいのは、集えば集うほど透き通るように透明になって、遠くまで見通せるような宗教ということだった。つまり、優れた宗教や考え、人類を救える技術は、光三原色と一緒に、交われば交わるほど、無色透明で、自己主張しないということ。哲学や宗教の終着駅は自己主張ではない。稲穂のよ



うに、実れば実るほど頭を下げていくということが本来の生き方だと考える。

◆宇宙の仕組みと生命

生命の水とは、41の元素×5500の酵素とここに宇宙から干渉してくるエネルギーで満たされた状態。これが生体水で、本物の生命の水である。この中には、10万分之一の確率で、ハイドライド水素が発生する。これが奇跡の水(ルルド)の始まりである。

今までたくさん科学者が、クラスタや、水素イオン、酸化還元電位などの指標で、水を評価してきた。しかし、現実には、どんな良い地下水を汲んできても、18前後のミネラルしか溶けていない。ましてハイドライド水素の化学反応は起きていない。水に41



◆水の科学で世界を豊かに!

世の中の浄水器は、不純物を取り除き、良いものだけを残した水にしようと考えている。ところが、微生物を悪玉、善玉、日和見菌と区別するように、良いものと悪いものに分類しようとするが、それは人間の都合で分類

しているだけで、人を差別しているのと同じことになる。本当は、それぞれの菌にも役目があり、環境によって悪玉になったり、善玉になったり、常に変化して生命を作っている。この変化は、遺伝子によるこれまでの進化論ではなく、全部、突然変異による進化なのだ。今まで学んできたこととずいぶん違うが、この視点で生態系や政治、経済、文化などの現状を見ていくと、私達人間の生き方を根本的に悔い改めなければ、平和を築くことができない。そのためには、水耕栽培で生きている私達人間が、水の科学を通して世界を豊かにしていく。人は、他が為に生きる。一人が皆、皆が一人のために。このバランスこそ、人間が目指す方向性だと思ふ。そこには、そのバランスを支えていく世の中の背景が必要。それが、科学とテクノロジーと確信している。

体験談



池田博さん・洋子さんご夫妻

◆カフェのお客さんは、たくさんのお客さんよりカフェの様子を伺いました。

今回は、動物病院「ココアニマルクリニック」とカフェ「フル」という生命と食の最前線でご活躍のお二人に、STS製品を使用してきた。まずは、洋子さん率直な感想を伺いました。まずは、洋子さんよりカフェの様子を伺いました。

さんにはこれまでで最高のコーヒーと評価をいただきました。また、カフェには、排水の浄化装置としてグリストラップを設置しており、いつも腐敗臭がしていましたが、蘇生器Sk y1725を設置して、そのニオイも大幅に軽減され、汚れも簡単に落ちるようになりました。

◆環境破壊やペットフードの製造過程で起こる品質劣化により、多くの動物たちが、先天的病状を抱えています。さらに、小動物は1年で世代交代が起きるので、親から子へと、先天的な病気の広がりが早くなっています。以前、電気メスを使用していた時は、手術部位の熱変性が大きく、炎症が起きるため、回復に多くの日数を要しました。しかし、現在使用

しているレーザーメスは、HWと同時に使用することで、刃物のメスと変わらない程の期間で回復します。これは、STS技術が無ければ、不可能です。また、排水の流れ出る先の河川では、20年ほど前から見かけなくなっていた体操ガニ(地元の呼び名)やハゼなどの水生生物の復活が観察されるなど、環境蘇生現象が確認されています。

◆最後に二人に、今後、地元佐伯で叶えたい夢や希望を伺いました。洋子さんは、HWを中心にSTS技術を使用したコミュニティを作る計画。博さんは、地元河川の環境蘇生から地球環境蘇生へ貢献する志が披露されました。お二人の貴重な体験談は、参加者の皆さんにとって、地球環境蘇生運動へのヒントとなり、家庭と地球規模の環境蘇生が繋がる報告となりました。

【大分支局8月の行事】

- ◆8/5 休日営業 9:30~
- ◆8/17 学習会 14:00~
- ◆8/23 茶話会 14:00~
- ◆8/30 ハーモニックソング 10:00~

《8・9月以降のセミナー》

- ◆8/19 福岡セミナー
- ◆9/2 東京セミナー
- ◆9/23 兵庫セミナー

*詳細は各支局までお問い合わせください。

【編集後記】

誰もが、梅雨の終わりを感ず始めていた矢先、突然西日本一帯が、大水害に見舞われました。被害に合われた皆様は心よりお見舞い申し上げます。今後、環境蘇生運動が進み、このような惨状を繰り返さない地球環境になってほしいものです。